

パブリックコメント実施結果

市民意見提出手続（パブリックコメント）実施概要

目的	「第2期西東京市文化財保存・活用計画（素案）」に対する市民の考えや意見を広く把握し、計画策定の資料とする
調査期間	令和6年1月24日～2月23日

【お寄せいただいた意見】

2月22日時点で意見なし

■ 市民説明会パネル展示でのご意見

目的	「第2期西東京市文化財保存・活用計画（素案）」に対する市民の考えや意見を広く把握し、計画策定の資料とする
調査期間	令和6年2月15日 9時～17時
場所	アスタコートセンター

第2期西東京市文化財保存活用計画
市民説明会パネル展示を実施します

日時
令和6年 2月15日（木）
10:00～17:00

場所
アスタコートセンター

申し込み不要・入退場自由

ご意見をお寄せください！

未来の子供たちにお祭りやお囃子を残したい！

自分のまちの歴史や文化を楽しく学びたいな！

文化財を守る活動を通して、地域のお友達を増やしたい

大切にしたい歴史や文化はなんだろう



【お寄せいただいた意見】	
①	東伏見ダイドーリンコ前のたいやきのよしかわさんのキッチンカーを入れてください。ついでにたいやきのよしかわさんのあんこを使って下野谷遺跡の銘菓をつくるとか!
②	学芸員さんのお話を聞いてまちの成り立ちがよくわかりました。みんな仲良くするために文化財が接着剤になればいいと思います。
③	東京の西部に転勤してきて、こちらの地域の歴史の奥深さに感心しています。下野谷遺跡へお邪魔に行きたいと思います。 身近な史跡を市民の皆さんで知り、学び、守る活動がより一層広まりますように。
④	Youtube などの動画で現地を楽しく紹介されるなどなさっていますか?個人的に狭山市博物館の物を見た時に良かったなーと思ったので、もしまだでしたら、ぜひ史跡紹介動画を!
⑤	もっと西東京市に人々を真似して頂くキャンペーンをやってほしい。食事やカフェの正体もやってほしいです。あと西東京に来た方に一人につきお礼金を 2 万円差し上げてくれると嬉しいです。
⑥	主要な街道と寺社仏閣関係の地図があればいいと思います。その説明があればもっと分かりやすいと思います。
⑦	別紙 2 枚 (下記)

○計画書に記載するご意見

【お寄せいただいた意見(要約)】
下野谷遺跡等の文化財の商品開発などは行わないのか。(①より)
Youtube 等を活用した史跡等の文化財の紹介動画の作成推進が必要。(④より)
説明などが記載された分かりやすい文化財の MAP 等の整備を進めてほしい (⑥より)
田無駅周辺には江戸時代の街並みや人々の生活を想像できる施設や環境が多数残されているが、現在では活かされていない。これらを地域や商店街の活性化・観光等に活かすような方策が必要ではないか。(⑦より)
公民館や図書館と連携して、地域の歴史を学ぶ講座や活動を活発に取り組む必要がある。十年前と比較するとこのような取組が少なくなったように感じる。(⑦より)

田無の近世（江戸時代）の面影を生かす

田無駅周辺には、江戸時代の町並みや人々の生活を想像できる施設や環境が、多数残されています。これらを、地域や商店街の活性化・観光等に生かすことが重要と考えます。現在では、折角の宝を持ち腐れにしているように思います。

江戸時代の町並みや人々の生活が想像できる施設や環境としては、つぎのような場所や施設が考えられます。

（1）江戸時代の町並みや人々の生活が想像できる施設や環境の例

- ①田無用水…暗渠になっているが、町並みの中に長距離で残っているのは貴重である。
- ②下田家屋敷…駅から近い場所にある貴重な文化財である。
- ③水車小屋跡…駐車場になっているが、当時のイメージを想像できると興味が湧く。
- ④稗倉の一部…江戸時代の人々の苦しさ・貧しさと助け合いの様子が分かる。
- ⑤高札場の場所…場所が特定できることは貴重である。
- ⑥宝永新道…「宝永4（1707）年、道拵之義御願立仕候書留」『田無村年代記』より
古い道の建設時期が分かり、今も一部が残っているのは、珍しい。
- ⑦青梅街道や所沢街道及び分岐（田丸屋さん跡）柳沢宿…当時の人々の賑わいの様子を想像する。
- ⑧御成道…明治天皇の演習参加の途中で休憩した時に、わざわざ建設された道。近村と比較して、田無村や下田家の当時の高い位置づけや、天皇の権威が分かる。
- ⑨田無神社…当時の人々の心の支え。今につながる。
- ⑩総持寺…当時の人々の心の支え。今につながる。
- ⑪短冊状に区切られた町並み…新田開発された町並みの特徴…青梅街道沿いの家々の境を見ると、短冊状に区切られた新田開発された町並みが残っている。

（2）上記の内容を生かすために考えられる方策

- ①町並みめぐりコースの選定
- ②関係機関・施設・関係者との調整…どの程度まで開放してくれるか。見学や通行の是非等について。
- ③案内板や説明板の設置…田無駅前の目につく場所に、コース等の説明板を設置する。関係の場所には、説明板を設置する。
- ④復元可能な施設や内容の検討…例えば、田無用水の一部でも開渠にして、復元できると楽しい。水車小屋も模型のような小さい物で良いから復元できると、これも楽しい。下田家等との協議は難しいと思いますが。
- ⑤AR化の検討…上記のような復元は困難が予想されます。次善の策としては、見学場所や施設のAR化が考えられます。ある場所に行き、バーチャルメガネをかけると、田無用水が流れている様子が映る。水車小屋の跡に行ったら、水車が廻っている様子が、目の前に表れる。高札場があった場所に行くと、高札の様子と、それを見ている田無村の人々のざわめきの様子が表れる。バーチャル空間でも、目の前に江戸時代の様子が表れると、わくわくするのではないのでしょうか。田無にはマンガ作成のプロダクションもあることですし、協力を求めているかがかと考えます。

別紙2

⑥休憩場所（お休み所）等の設置…コースの途中に休憩場所を設け、無料の茶や水の提供を行う。おみやげや各種飲料水、菓子等の販売場所も設ける。広い場所が確保できれば、川越市にある「お菓子横丁」のように、昔懐かしい駄菓子を販売するのも楽しいのではないかと考えます。商店街等との協議が難しいと思いますが、大人も子どもも楽しめるような、町並みめぐりができればと思います。

⑦説明・観光ボランティアの育成と活用

田無村の歴史を自ら学んだ人であれば、個人で巡っても、それなりの収穫はあるでしょう。しかし、全く学んだことが無い人や他地域の人々にとっては、案内板や説明板があっても、巡っても興味も持つことは少ないでしょう。やはり場所場所において、丁寧な説明があつてこそ、興味が湧き、意味がある町並みめぐりになります。そこで、案内・説明をするボランティアが必要です。まず、育成が必要です。高齢者が多くなっていますから、希望者は多数集まると思います。育成や運営方法については、先進的な取り組みをしている地区（一例 川越市）から学ぶことが必要です。また参加者に不快な思いをさせないためには、定期的な研修を行うなど、一定のレベルを保つ必要があります。

⑧案内所兼ボランティア控所の設置

小さな施設で良いので、案内所的な場所が必要です。もちろんボランティアの控える場所も必要です。予約で案内するのも必要ですが、ふらりと散歩がてらに来た時に、案内をしてもらえるという自由さが必要です。人手には限りがあるので、案内時間の設定をするとかの工夫は必要だと思いますが、可能な限りフレキシブルな対応が重要と考えます。

（3）おわりに

田無村は全国的にも珍しい村です。江戸時代の一村が、一町になり、一市になりました。そして、駅からの近距離に江戸時代の面影がたくさん残っている貴重な場所でもあります。貴重な場所というのは、田無村の歴史を学ばないと分かりません。歴史を知らないと、何の興味も湧かず、通りすぎてしまいます。

そのような意味では、住んでいる人々に、まず地域の歴史を知ってもらう必要が重要と考えます。社会教育課が、公民館や図書館と連携して、地域の歴史を学ぶ講座や活動を、活発に取り組むことが、もっとも必要かと思えます。十年前と比較すると、このような取り組みが少なくなっている感じがします。私自身が、社会教育課や公民館・図書館の講座や取り組みに参加して、地域の歴史に興味を持ちましたので、なおさらその重要性を感じます。

地域の多くの人々が自分の住んでいる地域の歴史に興味・関心を持つことなしに、地域博物館が仮にできたとしても、当初は見学者が多くても、時間がたつと閑古鳥がなくことでしょう。

まとまりのないことを書いて申し訳ありません。地域の歴史を学ぶ者の一人として、一つでも実現することを願っています。そして、歴史ある田無村や西東京市の活性化につながることを願っています。